

2 年次総合的な探究の時間

「テーマ研究」 最終発表会

令和4年2月17日(木)6、7限に、感染症対策のため本校第2体育館と多目的室の2会場において、2年次総合的な探究の時間「テーマ研究」最終発表会を実施しました。2年生が一人1テーマを設定して、仮説検証を行いながら探究のサイクルを回し、全員が Google スライドを使ってプロジェクターで発表を行いました。本来は1年生が対面で見学する予定でしたが、感染症対策の徹底のために、急遽1年がオンライン視聴、2年生も分散による発表となったのでした。さまざまな変更はあったものの、生徒は一人1人が生き生きと発表を行い、「もっと探究をしたい」「楽しかった」という意見が出るなど、有意義な探究活動ができたのではないかと思います。



体育館での発表



多目的室での発表



DNA のアドバイザー辻岡さんから
アドバイスを受ける生徒



深めた研究 成果発表

清明高
2年生

伊勢崎

総合的な探究
の時間で、伊勢
崎清明高（荒木

隆校長）は17日、伊勢
崎市の同校で2年生の
「テーマ研究」の最終
発表会を開いた。生徒
約200人が1年間の
成果を発表した。写
真。

生徒たちは「たくさ
ん寝ても疲れが取れな
いのはなぜか」「血液
型がもたらす影響」「海
洋プラスチック問題に
ついて」など自身の疑

問に対して仮説を立て
て検証し、研究を深め
てきた。外部講師から
プレゼンテーションの
方法も学んだ。

この日は5人程度の
班に分かれ、1人6分
の持ち時間で成果を披
露。発表後は熱心に質
問したり、講評用紙に
書き込んだりしてい
た。お金に紙幣と硬貨
がある理由を探った平
井咲夏さん(17)は「調
べるほど知りたいこと
が増え、深く知ること
ができた」と振り返っ
た。

（天笠美由紀）